

株式会社セントラルマーケット 代表取締役 加藤 昌稔が純広告で何の保障も無いと偽証した証拠2

代表取締役 加藤昌稔は、純広告を掲載しているだけで、何の保障もしていないと証言しているが、この証言は全くの虚言で偽証である。

下記は、株式会社セントラルマーケットが他の被害企業から内容証明を送られた際に加藤昌稔 自身の返答内容。

加藤昌稔自らが、しっかりとアクセス数保障を語っている。

原告に対して特別にアクセス数保障をしているのではなく、日常的にあらゆる保障を付けている証拠。

平成 21 年 4 月 7 日

〒

有限会社

殿

〒 106-0047

東京都港区南麻布 4-14-6

バルビゾン 34ビル 5F

株式会社セントラルマーケット

代表取締役 加藤昌穂



回 答 書

当社は、貴職作成の平成 21 年 3 月 6 日付通知書（以下「貴職通知書」といいます。）に対し、以下のとおり回答します。

貴職が、貴職通知書において、平成 20 年 12 月および平成 20 年 1 月の楽天でのアクセス数が 283 件、33 件と記載がありますが、当社が平成 21 年 2 月 19 日付け回

○
答書で回答したとおり、楽天が提供しているアクセス解析
ではすべて計測できるものではなく、当社では実績として
判断できません。

当社の計測しているユーサイドからのアクセス数は契約
時に保証している1万アクセスを満たしています。

貴職が契約した内容はユーサイドへの広告の掲載と1万
アクセスの保証であり、商品の販売個数は保証しておりま
せん。

以上の次第で、当社は、契約不履行ではなく、貴職ご請
求の債権についてお支払いすることができませんので、本
書面で通知いたします。

○
なお、仮に貴殿が当社の取引先などに対し、事実と異なる
内容を摘示し、その結果、当社の信用を毀損するなどし
た場合、刑事上の責任（信用毀損罪、名誉毀損罪など）及
び民事上の責任（損害賠償義務）が発生する可能性があり
ますので、念のため申し添えます。

この郵便物は平成21年4月7日第 04872号

書留内容証明郵便物として差し出したことを証明します。

郵便事業株式会社

